

吉田 稔 筆

平成21年1月 No.88

● 編集・発行
柏市増尾地域ふるさと協議会
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033
柏市増尾三丁目1番1号
増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211

みんな元気 住んで良かった この地域



檜ヶ岳の日の出

新年のごあいさつ 会長 山野辺 操

明けましておめでとうございます。

柏市内でもいち早く組織を一本化した本協議会は、知恵と行動力が結集され、各部の活動においても、多くの委員たちの新しい感覚から生まれた企画立案が、住民の皆さんに歓迎されて、会合への参加者がますます増えています。

「とてもよい会でした。今度は友達も誘って一緒に参加

します」などと言って帰られる皆さんの笑顔を見ると、疲れも忘れ「よし、これからもがんばろう」と思うことがしばしばです。こうした住民の皆さんの協議会活動への積極的な参加が、明るく住みよい地域を作っていくための一助となっているのだと確信しています。

今年も皆さんの温かいご指導とご協力をお願い申しあげて年頭のごあいさつといたします。

私の町会・自治会だより

皆さんの町会・自治会を紹介していくコーナーです。

増尾町会



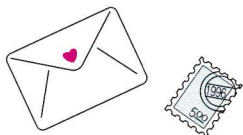
増尾町会は、明治21年の100世帯が、昭和5年には141世帯となっていました。この年に、柏～船橋間県道改修工事が行われました。その際、県から要請された7550円という莫大な金額を支出するため、種々会議を開催して、『百人持ち共有地』を7反歩(現在の土地公示価格では約7億円に相当)を売却して支払ったそうです。平成20年度の世帯数は2230になっています。

町会では、毎年8月に納涼盆踊り大会を増尾第一幼稚園の園庭を拝借して開催。また、11月の第2日曜

日には芸能発表大会を行っており、会終了後の抽選会は、町民の楽しみとなっています。

町会の区域内にある廣幡八幡宮は誉田別命(ほんだわけのみこと)を主祭神とし、慶安3年(1650)には三代将軍家光より、御朱印地10石を献上された柏市で唯一の神社です。平成9年には、御創建800年記念事業を総経費2億400万円で行いました。昭和52年には神社庁より規範神社に指定されています。

元会長 吉田 稔



豊かな内容の催し物

敬老のつどい

参加者は前年に比べ167人増



この日を楽しみにしていました

恒例の『敬老のつどい』は平成20年9月15日敬老の日に、増尾近隣センター体育室で開催されました。

毎年人気の催し物で、参加者は年ごとに増えてきましたが、今回は特に多く、前年比167人増の510人で、会場は足の踏み場もないほどの盛況でした。

来賓の挨拶に始まった会は、参加者をも巻き込んだ消費生活センター相談員による“悪徳商法にご用心”で大盛り上がり。さらに土中学校や市立柏高校のプラスバンド部員による演奏で、会場は熱気に包まれました。

地区社協部 大江 幹



さあ、受付です
顔なじみの民生
委員さんはどこ
でしよう



市立柏高校と土中学校の皆さんのコラボ

文化祭

秋を彩る文化祭が11月2～3日増尾近隣センター体育室で開催されました。出展数では前年に及びませんが、創意工夫の作品が来会者の目を引きました。



草月流憲芳華道教室の見事な合作



ボクにもやらせて!! ロボットは大人気



高校生の力作です

増えつつづける参加者

地域ふれあいのつどい

好天の11月2日、どのコーナーも販売前から長蛇の列で、短時間で完売。1日開催とは知らずに、翌日にも足を運ばれた方がいるほど。来年は、ぜひお早めに。



開店時間よ、急いで！



アレ！持ち上がらないよ
即販会の準備OKです



キャベツの炒め具合はどう？



早く順番が来ないかなア

学んでほしい救命救急法

もし、自分の家族や友人が目の前で倒れた時、あなたは何ができますか？

高齢化社会・ストレス社会の現代、いつどこで生命の危機に直面し、また直面した人に遭うかわかりません。

救急車が通報を受けてから、事故現場に到着するまでに要する時間は、全国平均約6～7分。その間、生命の危機に直面している人を前にどうしたら……。

平成20年9月21日、増尾近隣センター体育室において、柏市消防局救急課の指導のもと、救命救急法（AED）の講習会を開催しました。「人の脳が酸素なしで生きていられる時間は3～4分と言われています」などと指導員の説明を聞いた後、AEDを使った実技に取り組みました。そして講習終了後は、受講者31名全員が普通救命講習終了書をいただくことができました。

防犯防災部 斉藤忠蔵



実技はむずかしいなア

癒しのひととき 大好評のヨガ教室

平成20年10月12日、『ちびっこ体操教室』でおなじみの石原由紀子先生を講師に迎えて開催された『ヨガ教室』には、20代から70代までと幅広い年齢層の女性たちが参加されました。

その大半は初心者でしたが、「いろいろなポーズをとるうちに気持ちが落ち着いてきた」とか「日ごろ家事に忙しい身には貴重な癒しの時でした」と好評で、定期的な開催を望む声もたくさん寄せられました。

初めての試みでしたが、定員を大幅に超える参加者で大人気。主催者も思わずニコリ。

文化体育部 真崎博

グラウンドゴルフ大会 観戦記



選手一同勢ぞろい、いよいよ試合開始

文化体育部と地区社協部の共催によるグラウンドゴルフ大会が、平成20年10月19日秋晴れのもと、土中学校で開催され、昨年よりさらに多い参加者73名により、ハイレベルの試合が繰り広げられました。

一見、「だいじょうぶかな」と思わせる方が、いざプレーとなると、鮮やかスティックさばきでワンパット圏内に寄せる見事さ。日ごろゴルフを楽しんでいる小生は、参加者の技に驚かされるばかり。なんとかひとつでも技を盗めないものかと、虎視眈々狙って見ましたが、見ているだけで習得できるほど簡単なものではなく、機会があれば、一度挑戦してみたいと思いました。



油断しないで慎重に

上位入賞者は次の方々でした。
優勝 渡辺 直道 (74歳)
準優勝 吉川 博 (76歳)
三位 佐藤勝三郎 (81歳)

地区社協部 大坂敏晴



ご健闘おめでとうございます。仲間からの拍手もいっぱい

新しい自治会が誕生 増尾日立自治会

平成20年10月1日、増尾町会から分離独立して、増尾日立自治会が設立されました。

初代会長の安藤英夫さんは、「ご多分に漏れず、この地域も高齢化が進んでいますが、小回りの利く、小さな自治会ですから、その利点を生かして、活動していきたいと思っています」と語っておられました。

これからは、地域内60戸の世帯を4組に分け、きめ細かな活動を進められるとのこと。その成果が期待されます。



これで、増尾地域ふるさと協議会に加盟する町会・自治会は、17団体となりました。

東関東吹奏楽コンクール 柏南高と増尾西小が金賞

平成20年9月13・14日の両日にわたり、第14回東関東吹奏楽コンクール2008が、よこすか芸術劇場で開催されました。

高等学校Bの部に出場した柏南高校は、角田洋先生の指揮のもと『吹奏楽のための第3組曲(パレーの情景)』を演奏して、そのすばらしい出来栄えが聴衆を魅了しました。

また小学校の部には、増尾西小学校が出場し、中村真理先生の指揮により、狂詩曲『フニクラ・フニクラ』を演奏し、大きな拍手を受けていました。

日ごろの練習の成果を遺憾なく発揮した両校は、そのみごとな演奏で金賞を獲得しました。

このコンクールは、栃木、茨城、千葉、神奈川の各県より選び抜かれた団体を迎えて開催されたもので、両校はいずれも千葉県コンクールで金賞を受賞しての出場でした。

行事予定

- 地域福祉視察研修会 2月 地区社協部
- 障害者団体との懇談会 3月 地区社協部
- 芸能発表大会 3月 文化体育部・地区社協部共催
- ※日程については変更の場合があります。